

エステBプラン

経営と美容に特化したエステティックの専門誌 [エステ ビープラン]

特集

人事ポイント・ 店長、幹部の選考

店長、幹部の選考のポイントは！！
リーダーシップが取れる人、この人の元で働きたいと思わせる人、
憧れの存在になれる人、技術が上手い人、販売が上手い人、
接客が上手い人、明るくムードメーカーになれる人など、
それぞれの適性を見極めてどんな人（タイプ）を店長・幹部に
するべきかの選考ポイントを解説。

FBP

VOL.23

定価952円 (+税)



創業 25 周年に向けて～ 2019 年の抱負と今後の展望

株式会社インディバ・ジャパン
山口 祐司 代表取締役会長

便宜性と充実の教育体制は変わらずエステ業界の変遷に合わせて対応へ

エステサロンをはじめメディカル、スポーツ医学など幅広い分野で実績をあげている高周波温熱機器「インディバ®」を展開する株式会社インディバ・ジャパンは、2019年に創業25周年を迎えます。高い機能性を誇る高周波温熱機器と、「教育」という充実したソフトを徹底し提供してきた、同社の山口祐司代表取締役会長に今後へ向けての抱負や展望を語っていただきました。

「インディバ®」が介して示す新たなベクトル

株式会社インディバ・ジャパンは2019年、創業から25周年を迎えます。四半世紀にわたり、スペイン生まれの高周波温熱機器「インディバ®」がエステティック業界をはじめ医療の分野でも認知され、愛用されてきた根幹にあるのが、徹底した「教育」の提供にあると思っています。

当社では、「教育あつての販売」をポリシーとし、無期限の無料講習、新たな有用性や応用性を発信する2ヵ月おきの定例講習会、様々な分野の講師を招いての特別講習会など充実の教育体制を整えてきました。すでにそれらの受講者は6万7000名を超えるまでに至っています。

こうした充実の教育体制のほか、エステ業界の常識では考えられない機器の「8年間保証」という取り組みも、長年にわたる企業の信頼へとつながったものと考えます。また、「インディバ®」を導入されたサロンをはじめとする顧客は、ユーザーではなくファミリーとして対応し、単なる取引先の枠を超えてのお付き合いをさせていただいてきました。

インディバ・ジャパンが企業の責任と永続性を保ってきた一番の理由は、このように業界の商習慣とは一線を画した独自の取り組みによるものと考えています。

25周年を迎えるにあたり、インディバ・ジャパンでは従来と変わらぬ姿勢で次なるステップへと邁進していく考えです。しかし、現状維持ということではありません。エステ業界をはじめとする各分野、そして社会情勢は常に移り変わっています。

例えば、美容形成の一例があります。かつては外科手術が人気メニューの一つに数えられてきました。しかし現在では、諸々の問題を内包し、それに頼りが見られるようになっています。美容形成という分野だけでは解決できない課題といえるかもしれません。しかし、そこに「インディバ®」を介することにより、「美容形成とエステ」という新たなベクトルを示すことができるのです。

便宜性によって異業種でのコラボ実現進む

「インディバ®」はエステサロンや医療機関、スポーツ医学を含めた幅広い分野で採用されています。それぞれの分野からあがってきた「インディバ®」に関する可能性を一元化しフィードバックする。今述べたように、美容形成の分野が抱える課題をエステという手法でフォローアップする。つまり、美容形成外科とエステが協力し合うことにより、課題を解決し、顧客満足度の向上へとつなげていこうとするものです。こうした取り組みを私たちは「便宜性」と呼んでいます。

「インディバ®」は、血行・代謝の促進、組織の改善・修復、自律神経、内分泌、免疫系のバランス調整、疼痛の緩和などが期待される機器です。その応用分野は多岐にわたり、エステ業界をはじめ美容外科、皮膚科、内科、外科、スポーツ医学、鍼灸、統合医療や再生医療といったメディカルの分野でも広く採用されています。競走馬の治療の一環としても採用されるようになり、その可能性はまだまだ広がりを見せると考えています。

それぞれの分野が持っている情報を一つにまとめて共有すること。それが便宜性を高めることになるのです。便宜性の向上によって、美容形成とエステ、鍼灸とエステといった異業種のコラボレーション実現が期待できるようになっています。

実際に「インディバ®」ファミリーの声を聞くと、「整骨院を経営しているがエステをおぼえたい」「エステサロンで整骨院の基本を学びたい」といったニーズがあることがわかります。お互いが知りたいこと、学びたいことを共有し合うことが便宜性であり、それを実現するために必要な場となるのが充実した教育体制になるのです。

そしてまた、それぞれの異なる分野をつなぐことができるのが、高周波温熱機器「インディバ®」が有する稀なる価値だと考えています。



真の QOL 向上を実現するエステの社会貢献

私どもインディバ・ジャパンは、世界各国にあるインディバ販売企業の中で最も古く、しかも現地法人として高周波温熱機器「インディバ®」の独占販売権を所有している唯一の法人になります。また、エステ分野へ「インディバ®」の導入をいち早く推進してきたのも、私どもインディバ・ジャパンになります。

その実績を踏まえ、今後の挑戦として掲げたいのが、「エステの社会貢献～一石三鳥戦略」です。少子高齢化、健康寿命と平均寿命の差など、日本は深刻かつ様々な社会問題を抱えています。その中であつてエステ分野は、「真の QOL 向上」を提唱し、対応できるその価値を前面に押し出すべき時代に突入したと考えています。

高齢化社会の本格化により、日本では認知症やロコモティブシンドロームといった健康課題が浮き彫りになってきました。こうした社会問題によって、健康寿命の延伸への関心と期待が高まってきています。ところが、メタボ対策がそうであったように、根本的な解決策を見出せていないのが現状といえます。「QOLの向上＝健康」という図式では解決できないほど深刻な事態を迎えつつあるのです。

それに対してエステ分野の様々な手技・美容機器の中には、人間が本来持つ代謝促進や自然治癒力を目標とし、補完的効果が期待できる技術が多々あります。つまり、医療分野とエステ分野は急速に接近しており、両分野ともに相互協力が不可欠な時代の到来ということが出来ます。

エステの一石三鳥戦略とは、総合的に「健康と美」ならびに「健康寿命の延伸」を進めることにより、乖離している平均寿命と健康寿命の差を縮めることにあります。いつまでも若々しくあるためには、「健康で美しく」が欠かせません。しかし、メタボ対策など過去の経緯を見てもわかるように、セルフケア・ベースのケアでは継続性が望めないのも事実です。そこで「インディバ®」の持つ深部加温や非熱作用・電流作用による補完的施術でロコモ対策を含む、エステティシアンの手技への期待感が増してくるのです。

そしてそれこそが、エステサロンを舞台にした真の QOL の向上へとつながるものと考えます。

そのためには当社の提唱する便宜性と充実した教育体制が不可欠になってきます。インディバ・ジャパンではこのスタンスを変えることなく、時代の趨勢に即した施策をさらに充実していかなければいけません。エステ業界を新たなステージへとサポートできるよう、これまで以上に邁進してまいりますので、25周年を迎える2019年のインディバ・ジャパンにご期待ください。

株式会社インディバ・ジャパン

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 5-15-1
TEL03-5768-8871 FAX03-5768-8872
ホームページ <http://www.indiba.co.jp>